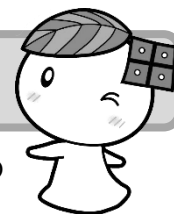




ほごしゃ
保護者のみなさんへ

2020年6月発行

いくみん教育だより 第24号



いくのくちよう やまぐちてるみ
生野区長 山口照美

いくのくたんとうきよういくじちよう
(生野区担当教育次長)

かげつ なが がっこうきゅうぎよう あいだ
3か月もの長い学校休業の間、こどもたちも、そして保護者の

みなさんも感染防止と外出の自粛、家庭学習をがんばって

いただき、本当にありがとうございました。いよいよ学校再開です！

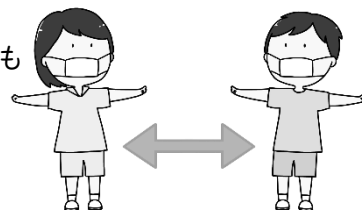
★新型コロナ対策の相談・支援情報などは区役所のTwitterで⇒



《withコロナ》生活リズムを整えて、体力を回復しよう！

しんがた せいかいじゅう おお ほう な いま かんせん つづ ちりょうやく
新型コロナウイルスにより、世界中で多くの方が亡くなっており、今も感染は続いています。ワクチンや治療薬
が開発されるまでは、私たちは「新型コロナウイルスに感染しない」努力と、感染しても安心して治療が受
けられるよう医療体制を維持することが大切です。重症化しないための、健康管理も必要ですね。

しかし、区内の学校の様子を尋ねてみると、「だるい」という症状を訴えることも
多いとのこと。休業中に昼夜逆転の生活を送っていた子も多いようです。
家に籠って、運動量が減ったことによる課題も出てきています。



世界中で新型コロナウイルスで「暮らし方・働き方」が一気に変わりました。「集まって働く」「一斉に同じ
場所で授業を受ける」ことの必要性が見直されてもいます。暮らし方、働き方、学び方の「選択肢」が増え
たことは、社会にとって大きなプラスです。今後のウイルスの第2波・第3波にも備えることができます。

一方、成長期であるこどもたちの心と体の健康を守る上では、「朝起きて、学校に来て、仲間と学ぶ」こと
の意義も大きいと休校中に感じました。全力で学校再開を楽しめるこどももいれば、ゆっくりペースを取り
戻すこどももいます。体調や気持ちの変化を、ご家庭でも気にかけてあげてください。

《親子で読書のすすめ》

『窓をひろげて考えよう 体験！メディアリテ

ラシー』下村健一 企画・構成：

くさば 嶋場よしみ (かもがわ出版)

新型コロナウイルスによって
課題になったことのひとつが、
ネットやテレビの情報発信
の正確さです。

この絵本は、まず小さな窓で区切られた情報と受け手の
誤解が描かれ、次のページで「広い視野で見るとこうだっ
た」とわかるしかけになっています。親子で読むことで、
情報を正しく受け取り、判断する体験ができます。



小中学校 使用教科書を展示中！

展示場所 ・生野区役所 (1F いくみんの庭)
・生野図書館

2021年度に使用される
小学校・中学校の教科書を

6月12日(金)～7月31日(金)

まで展示しています。ぜひ、のぞいてみてください！

【問合せ】地域まちづくり課 4階43番

電話：06-6715-9017



学校再編の状況や問合せ先については

生野区 学校再編の動き で 検索